

## 平成 29 年度第 2 回いきいき健康プランにしん 21 推進委員会議事録

日時 平成 30 年 3 月 9 日 金曜日 午後 2 時から 3 時 5 分まで

会場 日進市保健センター 2 階会議室

出席者 <委員>

大澤功、大須賀恵子、早川真人、大矢健司、高木伸治、大野忠夫、齋藤信子、丸山勝司、小塚和良、花井祥雄、小室勢子、中河昌宏、林輝夫、中島衣代

<事務局>

真野幸治（健康福祉部長）、堀之内美奈子（健康福祉部参事）、伊東あゆみ（健康福祉部健康課長）、西尾直樹（同課課長補佐）、木村文香（同課保健企画係長）、福岡千勢（同係主査）、下田恭子（同係主事）

欠席者 <委員>

荒川正規、土山典子、伊藤日奈子

(順不同)

傍聴の可否 可

傍聴者の有無 無

### 議事

事務局 はじめに委員長からあいさつをお願いします。

委員長 あいさつ

事務局 議題の進行につきましては、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則により委員長をお願いいたします。

委員長 議題(1)平成 29 年度事業実施状況について事務局から説明をお願いします。

事務局 平成 29 年度事業実施状況について説明（資料 1～4）

委員長 ご質問、ご意見はございませんか。

次の議題でも関連した説明があるかと思しますので、議題(2)平成 30 年度事業実施計画（案）について説明を先をお願いします。

事務局 平成 30 年度事業実施計画（案）について（資料 5）

- 委員長 ご質問、ご意見はございませんか。  
ボランティアとして学生と関連した事業もあるかと思えます。ボランティア意識の高い学生もいるかと思えますし、またボランティアで活躍することにより大人に褒められるという経験が学生の自信にもつながります。学生のためにも、これからもぜひ続けていただきたいと思えます。
- 委員 今年度から胃がん検診として内視鏡検診を実施しましたが、このことによって受診率が上がったなど何か変化はありましたか。
- 事務局 受診率については集計中です。12 医療機関で 800 名程度受診しているかと思えます。2 年に 1 度ではありますが、実施してよかったとの声も聞いております。
- 委員 カメラの検診は条件が厳しく受診できない方も中にはいらっしゃいます。また、病気ではない人が受けるのが検診の本来の目的なのですが、病気の方が定期的な検査を行う代わりに検診を利用して実施しているのも実情です。今までがん検診はバリウム検査でしたので保険を使って自分で内視鏡検査を受ける患者さんも多かったのですが、そのような方が検診で受けられるようになったので今後はがん検診受診数がどんどん増えていくのではないかと思います。ただ、バリウム検査は自分でバリウムを飲まなければならないし、後から下剤を使って出さなければならない、便が溜まってしまうという難点があります。またご高齢の方では移動するのも大変ですし、ベッドの上で危険も伴いますのでカメラの方が良いとも思います。しかし、カメラも決して安全とは言えません。現在の内視鏡検診は服薬中の方も受けられない、組織を採った検査はまだ受けられない段階です。胃がんの発見率という点では、バリウムは見つけにくいけどカメラでは見つかる是一般の方からは誤解されていますが、決してそのようなことはありません。ただ、医師が説明する上ではカメラのほうが説明しやすいと思えます。一般の方にとっては、全然見たことのないフィルムを見るよりは、写真を見た方が納得できるのではないかと思います。
- 委員長 ワーキングについてですが、参加者の年代はどのような構成でしたか。
- 事務局 20 歳代、30 歳代が最も多かったです。
- 委員長 20 代、30 代は自分のことと考えているように感じました。  
このワーキングの結果は何かに反映させるのですか。
- 事務局 ワーキングで出た良いアイデアを計画の中間見直しに取り入れることができるよう資料として活用していきたいと考えております。

委員 Cグループは高齢者について検討していますが、Cグループに高齢者は参加していましたか。

事務局 いらっしやいませでした。

委員 高齢者はいなかったということで、このような意見しかなかったのですね。この取り組みの中にぜひ「老人クラブへの参加」を入れていただきたいと思います。現在 7,050 人が老人クラブへ加入しています。老人クラブ連合会の新聞でも紹介していますが様々な運動への取組をやっているクラブもごぞいます。また、この新聞へも市の保健師に寄稿していただいているところであり、来年もぜひ一筆を書いていただきたいと思います。そして、取組内容についてですが、あまりにも幅が広がります。分科会のようなグループ分けをした形で進めたほうがよいのではないのでしょうか。とにかく多岐にわたりゆりかごから墓場寸前まで、長いスタンスで検討しなければならないと思いますし、まだまだこれでも足りない部分が沢山あるのではないかと思います。

委員長 老人クラブの加入条件と加入方法について教えてください。

委員 地域でクラブ活動を行っておりますので、その役員に申し込みしていただきたいと思います。氏名、電話番号、生年月日、年齢等をお伝えください。年齢は 65 歳以上が加入条件です。

委員 会費はかかりますか。

委員 会費がかかる場所とそうでない場所があります。必要な場所でも 100 円や 200 円など非常に少額で加入しやすい価格となっております。是非加入していただきたいと思います。

委員 当然日進在住でなければならないですね。

委員 その通りです。

委員 4 年間に経過したというお話でしたが、もし成果が上がっているとすれば健康な人が増加していると考えられます。そうすると医療費が減っているかと考えられます。行政としては、効果が目に見えることが重要だと思いますがいかがでしょうか。

事務局 このような評価は、健康の分野で出すのは難しいものと日々感じているところです。様々な条件が関係してくるため、医療費に直結する、というような評価はなかなか難しいのですが、そのために来年度中間評価として見直し評価を行って参ります。計画書には目標数値が沢山ありますが、分野ごとにも目標数値が出ておりますので1つずつの項目に対して来年度1年間かけて中間評価を行いたいと考えています。

委員 健康に関する評価指標が具体的に出てきますが、表に出すかどうかは別として、その中に医療費などを含めて把握していく必要があると思います。

また、学生がボランティアに参加するといきいきしてくるという委員長のお話があったのですが、健康づくりの上でも同じだと思います。健康になるということは目標には違いないですが、目的ではないと思います。計画書にも、市民が共に支えあって健やかで心豊かに長生きができる、という文言が入っているのですが、恐らくこれが目的になるのではないかと思うのです。健康な人が増えてきて心豊かに暮らす、また自分が生きてきて誰かのために、何かのために自分が貢献できているということが、見えにくいことですが、とても大事なのではないかと思います。資料をよく読みこんでいくと他の課と連携を図ることでそのようなことを実現しようとしていると思うのです。先に老人クラブの話もありましたが、全国的には老人クラブの加入者は減っているのではないのでしょうか。老人クラブの会員として活躍している人が増えてきているとすれば、それは施策の大きな効果として評価できるのではないのでしょうか。そして社会が求めている部分でもあるのですが、子どもが少なく、働く人が少なくなった時に、みんなが高齢者であっても協働によって共に生きていく、その部分を何らかの数値化をしていくといいのではないかと思います。それを中間評価の時に出していくといいと感じました。

委員 医療費というのは、団塊の世代の影響もあり、今の状況では医療費は上がっていくものと思います。医療費を削減することが一番良いとは思いますが、まずは第一段階として上昇を少し抑えるくらいがいいのではないかと考えます。

委員 現在医療費の80%以上を高齢者が占めている現状で、団塊の世代が高齢化するため、今後も医療費は上がってきます。しかし、他の市町村や国、県との比較によって医療費が抑制されているかどうかを比較することはできると思います。

委員 人口構成など影響される要因も多く評価というのはなかなか難しいものと考えます。厚生労働省に医療費の効果の検証のガイドラインを作るよう要望するとよいと思います。各市町村がそれぞれに対策を行った、とはいえど全国的には増えているかもしれません。全国的に捉えるべき課題だと考えます。

- 委員長 医療費については世界的にも様々な考え方があるため、非常に難しい問題であり、この議題の中で取り上げることも難しいものと思いますので、次の議題に移りたいと思います。それでは、議題(3) 第2次いきいき健康プランにっしん 21 中間評価及び計画見直しについて事務局から説明をお願いします。
- 事務局 第2次いきいき健康プランにっしん 21 中間評価及び計画見直しについて説明(資料6)
- 委員長 何かご意見ありますでしょうか。中間評価についてではなくても、全体においてご意見、ご質問等ございましたらご発言をお願いします。
- 委員 先の議題に戻り事業実施計画についてですが、日進市は先日、人口9万人を超えたということですが、特に30代を中心とした若い世代の家族が増えています。この事業実施計画にも資料の一番上に「若い世代を含めたポピュレーションアプローチ」とあり、特に若い人たちの乳がんや子宮がんなど女性のがん関係についてのことであると思います。実際に女性がんにについてのヘルピー健康だよりも多く配布されていますし、活動もとても行っているのので、実施計画の中にもっとダイレクトに女性のがんについての項目や表現を入れられたほうがより活動していることを若い人たちにアピールできるのかと思います。私たちの職場でも男性よりも女性の検診に対する意識が高いと感じています。女性は自分の健康に不安を感じて実費で検診に行かれている人も多いです。実施計画にダイレクトに表現することでそういう若い人たちによりアピールできるのではないのかと思います。ぜひご検討ください。
- 事務局 検討させていただきます。がんにつきましては重点的にやっていきたいと思えます。30代さわやか健診で子宮がんも同時にできることのPRや乳幼児健診などでのがんの検診のPRもしておりますので、まずはそこから取組んでいきたいと思えますのでよろしくをお願いします。
- 委員長 がんについては検診も大切ですが、正しい知識を伝えることも大切です。学習指導要領も変わりがん教育も入ってきています。そこで取組むこともあるのかと思います。その他ご意見はいかがでしょうか。10か月なかよし教室での歯科講話など様々な企画をしていると思いますがいかがでしょうか。

委員 10 か月なかよし教室の歯科講話では、小さなお子様をお持ちの方に対して、子どもの口の健康を保っていただく意識づけになるとよいと感じ、始めたところです。内容は本当に簡単なお話で、紙芝居形式で決められた内容をお話しするものです。その時に参加者からの質問もお受けしています。一人目のお子さんだったりすると分からないことだらけで悩まれている方が多いので、口の中の健康を保つ知識としていただければと思っています。これですべてが良くなる、ということではありません。これは私的な意見なのですが、検診の中で一番重要なことは、どうやって何を知っていただけるのか、だと思います。この10 か月なかよし教室の講話もそのきっかけになればいいと思います。進めている事業です。

委員長 マタニティブルーなどもありますが、若い女性にとって妊娠、出産、子育てなどはとても不安を感じる人が多い時期です。若い女性を支援するという意味でもこの事業はとてもいい取組だと思います。内容は子どもの健康のことかもしれませんが、実は親の健康を意識することに繋がっていくかと思います。他にご意見などありますでしょうか。

委員長 それではその他に移りますが、事務局から何かありますか。

事務局 特にございません。

(意見なし)

委員長 それでは議事は以上で終わらせていただきます。

事務局 委員の皆様におかれましては、今回の会議で2年間の委嘱期間が終了となります。2年にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。最後に健康福祉部長より、お礼のごあいさつをいたします。

(健康福祉部長あいさつ)

事務局 これをもちまして、平成29年度第2回いきいき健康プランにつき 21 推進委員会を終了いたします。

(午後3時5分終了)